

## 令和3年度 瀬谷区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	健やか瀬谷っ子事業	5,811	5,781	6,568	6,528	△ 757	△ 747
2	未来を拓け!瀬谷っ子事業	8,207	8,207	7,733	7,733	474	474
3	青少年育成支援事業	2,104	2,104	2,637	2,637	△ 533	△ 533
4	児童虐待防止対策事業	1,423	1,423	1,293	1,293	130	130
5	健康せや推進事業	3,986	3,986	4,987	4,987	△ 1,001	△ 1,001
6	地域福祉保健計画推進事業	4,217	4,217	5,176	5,176	△ 959	△ 959
7	高齢者支援事業	1,444	1,444	1,684	1,684	△ 240	△ 240
8	高齢者等地域拠点支援事業	1,520	1,520	2,520	2,520	△ 1,000	△ 1,000
9	障害者地域生活支援事業	1,430	1,430	2,054	2,054	△ 624	△ 624
10	まちの安全支援事業	5,604	5,354	4,779	4,779	825	575
11	災害等対策事業	12,011	12,011	11,567	11,567	444	444
12	食の安全と動物愛護等推進事業	778	778	1,074	1,074	△ 296	△ 296
13	瀬谷の魅力発信・名所づくり事業	7,355	7,080	6,644	6,294	711	786
14	まちづくり推進事業	6,514	6,514	6,130	6,130	384	384
15	環境行動推進事業	2,499	2,499	2,770	2,770	△ 271	△ 271
16	瀬谷区3R夢推進事業	1,955	1,955	2,155	2,155	△ 200	△ 200
17	区民活動支援事業	12,004	12,004	9,387	9,387	2,617	2,617
18	瀬谷フェスティバル	7,900	7,900	6,700	6,700	1,200	1,200
19	商工業元気アップ事業	3,505	3,505	4,705	4,705	△ 1,200	△ 1,200
20	窓口サービス向上事業	3,014	3,014	1,297	1,297	1,717	1,717
21	広報・広聴連携事業	1,252	1,192	2,632	2,512	△ 1,380	△ 1,320

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 瀬谷 区 子ども家庭支援 課 ]

No.	1
-----	---

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成19年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
健やか瀬谷っ子事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	1
23	3
23	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	5,811		30		5,781
前年度	6,568		40		6,528
増△減	△ 757	0	△ 10	0	△ 747

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	7,464	6,638	6,993	予算	事業費	5,811	5,811
	メリット+一般財源	7,395	6,601	6,953		一般財源	5,781	5,781
決算	事業費	7,185	6,505	6,356	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	7,145	6,464	6,323	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	子育て家庭が安心して子どもを育てられるよう、妊娠中から子育てについての知識や情報を提供するとともに、身近な地域での仲間づくりや育児相談、保育施設の利用の紹介を行うことで、子育て力を高めていけるように支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	「横浜子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」では、子育てを楽しく安心して行うためには、子育て中の親同士の仲間づくりのための支援を求める意見が多く、近所との付き合いが親密なほど、生活の満足度が高い傾向となっていることから、身近な地域での仲間づくりを支援する必要があります。また、はじめての子どもが生まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがない人が7割以上となっており、将来子どもを産み育てることのイメージが持ちにくくなっているため、若い世代へのアプローチが必要です。 <瀬谷区出生数 (R1) 769人 (※横浜市統計情報ポータル) > <保育所利用児童数 (R2.4) >1,648人
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度
-------------	------------	----------

2 運営方針等との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度区政運営方針 目標達成に向けた施策 『子ども・青少年の育成』</li> <li>瀬谷区地域福祉保健計画 基本目標 『隣近所で見守り・支え合う地域づくり』</li> <li>『健康・長寿をめざす地域づくり』</li> <li>『誰もが活動に参加する地域づくり』</li> </ul>
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、横浜子ども・子育て支援事業計画
------------	-----------------------------

【実績の推移・今後見込み】				
<親育ち・子育て事業>				
	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
両親教室参加者数(うち、土曜両親教室)	235(173)	176(128)	140(90)	180(120)
赤ちゃん教室参加者数	1,917	1,616	590	1,080
親子の生活リズム講座(乳幼児健診)回	39	37	36	72
<思春期命の大切さ啓発事業>				
	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
実施回数(実施校数)	6(4)	7(5)	3(3)	5(5)
<保育まつり>				
	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
参加人数	289	387	—	500

【実施内容】

- 親育ち・子育て事業
 

内容 (1) 妊娠から幼児期までの子育てについて、身近な地域での仲間づくりや育児相談ができるように支援します。新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を減らすことから、実施回数を増やします。両親教室や母親教室を11コース(1コース4回)実施し、赤ちゃん教室を瀬谷区内の7会場(うち、3会場では月2回実施)で実施します。

(2) 地域での子育て支援を推進するにあたり、子育て支援者が瀬谷区子育て応援ネット全体会(年1回)及び4か所に分けたブロックごとの連絡会(各々年5回)に参加し、地域で子育て支援について活動している団体と情報共有を行います。

(3) 日頃の育児や生活に活かせる情報提供や子どもの成長発達について乳幼児健康診査にて講話を実施します。(親子の生活リズム講座:年72回実施予定)

(4) 妊娠期から産後直後まで活用できる瀬谷区版マイカレンダーを作成し母子手帳交付時に配付します。【新規】

対象者 妊婦及びその夫、未就学児とその養育者等
- 思春期命の大切さ啓発事業
 

内容 小中学生を対象に、地域や学校と連携して、赤ちゃん人形や妊婦体験グッズの貸し出しによる疑似体験や、生命の尊さ、親子の絆、性に対する知識などを学ぶ啓発事業を実施します。

対象者 学校や地域、PTAの協力の得られる小中学校5校の小学校5~6年生及び中学生

- 3 保育サービス関連事業  
 内容 案内冊子の発行などを通じて、様々な保育サービスの紹介等を行うとともに、保育施設を身近に感じてもらえるよう、保育まつり等を実施します。  
 対象者 未就学児とその保護者

4 子育て応援事業

- 内容 (1)妊娠、出産、子育て(乳幼児期～小学生)支援などの子育て支援制度を掲載した子育て応援ガイドブック「瀬谷区de子育て」のデータ修正と、増刷・配布をします。  
 (2)子育て当事者が外出時に役立つ情報を掲載した瀬谷区子育て応援マップのデータ修正と増刷・配布をします。  
 (3)子育ての不安やイライラを軽減するため、イヤイヤ期リーフレットを印刷・配布します。  
 (4)親子で遊べる子育て応援イベントを瀬谷区の子育てに関わる団体と一緒に開催します。また、子育てに関する研修会を行い、人材育成や子育てネットワークを充実させます。  
 (5)外国籍に関わる子育て世帯に対して、通訳により支援を行います。

対象者 母子健康手帳申請者、ひとり親世帯、児童扶養手当受給世帯、子育て世帯、外国籍子育て家庭

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
親育ち・子育て事業	2,898	1,686	1,212	感染症対策を講じて実施することによる増
思春期命の大切さ啓発事業	155	155	0	
保育サービス関連事業	808	858	△ 50	実績に伴う減
来庁者一時託児事業	0	1,994	△ 1,994	事業終了に伴う減
子育て応援事業	1,950	1,875	75	課連絡用携帯電話通信費の増
			0	
事業費合計	5,811	6,568	△ 757	

【根拠とするデータ等】

人口動態統計、横浜市保健統計年報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	小澤 美奈子	城 可奈子	仁和 裕美子

( 瀬谷 区 - 1 )

[ 瀬谷区 こども家庭支援課 ]

Table with 5 columns: 予算区分, 子育て・子ども・青少年育成費, 性質・課題区分, 学校連携 子育て支援 青少年健全育成, 事業開始年度, 平成28年度

事業名: 未来を拓け！瀬谷っ子事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 中期計画-行政運営, 中期計画-財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号, 主な施策番号

事業評価書番号, 該当なし

(単位：千円)

財源内訳表: 区分, 金額, 国・県, 諸収入, 一般財源

歳出表: 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 令和4年度, 令和5年度

事業の概要 (目的): 小・中学生が自己肯定感を高め、夢や希望をもって社会生活を送れるよう、学校・地域・団体等と連携した放課後の学習支援や生活支援を行います。

(説明)

1 地域の課題等: 瀬谷区では、経済的な課題等を抱える世帯が多く、支援が必要な子どももいます。そこで、すべての子どもたちが社会に出て自ら考え行動できるよう、学習習慣や学習意欲を身につけるための放課後の学習支援や、社会生活のスキルを学ぶための体験が必要とされています。

2 運営方針等との関係: 令和2年度瀬谷区運営方針 「子ども・青少年の育成」「健康増進、福祉の充実」

3 根拠法令・要綱等: 横浜市子ども・子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】 1 生きる力を育む小学生の学習支援事業

2 瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業 (1) 利用(登録)者数※南部は平成31年3月から開所

(2) 生活体験参加者数※令和元年度から2か所で実施

3 学習支援ボランティア養成事業

4 放課後児童育成支援事業

【実施内容】

1 生きる力を育む小学生の学習支援事業

(1) 事業内容

小学校や放課後キッズクラブ、地域等の協力を得て、学習意欲や学習習慣を身につけるための、放課後の学習支援を実施します。（令和3年度：全校実施）

場 所：学校の空き教室等

対 象：希望するすべての児童

講 師：学習アドバイザー(教員OB等)、地域スタッフ

時 期：週1回程度

内 容：宿題、自主的な予習復習、プリント学習、体験学習等

実施校：二つ橋小、原小、南瀬谷小、大門小、上瀬谷小、相沢小、瀬谷小、瀬谷第二小、三ツ境小、瀬谷さくら小  
令和3年度実施予定：阿久和小

(2) 実施校への支援及び今後の展開について

ア 実施校への支援を行います。（学習アドバイザー紹介や学習支援内容の助言、課題整理等）

イ 未実施校において、学校関係者等にヒアリング等を行い、学校の実情を踏まえ、地域資源を活用した学習支援について、関連団体と連携しながら実施できるよう進めていきます。

2 瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業

(1) 瀬谷区寄り添い型生活支援事業を利用している児童・生徒を対象に、支援施設への送迎と学校への登下校時の送迎等を実施し、生活困窮や養育困難等の課題を抱えた世帯への支援の充実を図ります。

(2) 様々な体験を通し成長することを目的として、夏休み期間中に生活体験事業を実施します。

(3) 瀬谷区内の子どもの生活塾を卒所した児童・生徒の卒所後の生活について、必要な支援につなぐことを前提に状況を確認するためのアフターフォロー事業を実施します。【新規】

3 学習支援ボランティア養成事業

(1) ボランティア養成講座

地域での学習支援を安定的かつ継続的に行っていくため、講座を通じて地域人材の掘り起こしを行い、学習支援の担い手の創出を行います。

(2) ボランティアフォローアップ研修

ボランティア養成講座受講者及び既に瀬谷区内で学習支援を行っているボランティアに対し、研修を実施。ボランティアのスキルアップと交流を通してボランティアの定着を図ります。

(3) 青少年自立支援に向けた講演会

学習支援や就労支援など青少年の自立に向けた支援についての講演会を実施します。

4 放課後児童育成支援事業

区内の放課後児童育成事業（放課後キッズクラブ、放課後児童クラブ）のスタッフに向けて、身近な区役所等で研修会を年間4回実施し、スタッフの資質の向上を目指します。また、活動の様子や参加児童が制作した作品を区民ホールに展示し、区民への事業周知と活動の活性化を目指します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
生きる力を育む小学生の学習支援事業	3,689	3,315	374	実施校の増 感染症対策費増
瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業	4,250	4,150	100	アフターフォロー事業の実施に伴う増
学習支援ボランティア養成事業	158	158	0	
放課後児童育成支援事業	110	110	0	
			0	
			0	
事業費合計	8,207	7,733	474	

【根拠とするデータ等】

人口動態統計、横浜市保健統計年報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	山梨 真奈美	松浦 基晴	村井 利永

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成21年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名 青少年育成支援事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 29 主な施策番号 1	事業評価書 番号	該当なし
	中期計画-38の政策 ○		事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,104					2,104
前年度	2,637					2,637
増△減	△ 533	0	0	0	0	△ 533

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
メリット＋一般財源	2,645	2,426	3,262	一般財源	2,104	2,104
決算	3,510	2,423	2,256	方針に関する決裁 種別( )		
決算	3,510	2,423	2,256	有:件名( )、目付(年月)		

事業の概要 (目的)	横浜市子ども・子育て支援事業計画等を推進するため、区民や地域の関連団体、学校等と一緒に、青少年の元気で心豊かな成長を支援します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	現代の教育に関する様々な課題のうち、文部科学省(中教審第160号)では、青少年の体験活動に関する課題を挙げています。近年の青少年は、核家族化の進行やインターネット環境が発展していることから、自然や社会などと直接関わり合うことが希薄となっています。そのため、様々な体験事業を行うことを通じて、青少年の元気で心豊かな成長を支援します。また、瀬谷区子ども会育成連絡協議会等の青少年育成活動を支援します。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度瀬谷区運営方針「子ども・青少年の育成」
3 根拠法令・要綱等	第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画、今後の青少年の体験活動の推進について(答申)(中教審第160号)、瀬谷区子ども会育成連絡協議会補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】					
1 セやっこ体験事業					
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
せやっこわくわくワーク 参加者数				100人	270人
せやっこ農体験※ 参加者数	225人	235人	109人		
せやっこだより 配付数	9,000部×6回	9,000部×6回	8,500部×3回 8,300部×2回	8,000部×3回	ホームページ等の電子媒体で掲載
※令和2年度より「せやっこわくわくワーク」の枠組みの中の1事業として実施します。					
2 ボランティア促進事業					
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
情報紙「やってみよう! ボランティア」配付数	中学生 4,150部 高校生 3,600部	中学生 4,150部 高校生 3,600部	中学生 4,150部 高校生 3,600部	中学生 中止 高校生	中学生 4,150部 高校生 3,600部
中学生ボランティアカード配付数	2,450部	2,000部	1,500部	1,500部	1,500部
ボランティア活動報告会発表者数	中・高校生 6人 団体・地域・学校 2人	中・高校生 5人 団体・地域・学校 3人	中・高校生 中止 団体・地域・学校	中・高校生 10人 団体・地域・学校 3人	中・高校生 10人 団体・地域・学校 3人
3 青少年関連団体支援事業					
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
子ども会会員数	1,040人	1,040人	857人	508人	508人
区内児童・生徒数	10,205人	9,927人	9,646人	9,371人	9,371人

【実施内容】	
1 セやっこ体験事業	従来の体験事業を再編し、農業だけでなく瀬谷区の商業や工業への理解をより深めてもらうことを目的とし、「せやっこわくわくワーク」として体験事業を実施します。これにより、せやっこ農体験は「せやっこわくわくワーク」に組み込み実施します。同様に「せやっこだより」について、従来の紙媒体での発行を見直し、区ホームページを活用し、区内青少年関連団体等の情報発信を行います。
2 ボランティア促進事業	(1) 情報紙 区内の全中学生と高校生に、情報紙「やってみよう! ボランティア」、「やってみよう! ボランティア特集号」を配付し、社会参加への理解と関心を高めます。 (2) ボランティアカード 中学1年生全員にボランティアカードを配付し、ボランティアを始めるきっかけづくりを行います。 (3) ボランティア活動報告会 中学生・高校生によるボランティア活動報告会を開催し、地域や受入れ施設等と意見交換することで、地域でのボランティア活動を促進します。
3 青少年関連団体支援事業	瀬谷区子ども会育成連絡協議会に補助金を交付し、地域における青少年育成活動を支援します。 また、地域一体で青少年育成活動をしていくため、区内青少年関連団体を集めた会議を開催します(年2回程度)。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 せやっこ体験事業	1,559	2,092	△ 533	せやっこだよりの紙媒体廃止による減
2 ボランティア促進事業	445	445	0	
3 青少年関連団体支援事業	100	100	0	
事業費合計	2,104	2,637	△ 533	

【根拠とするデータ等】

瀬谷区内児童・生徒数（区子ども家庭支援課調べ）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民協働推進 係
	岩上 教行	金原 宗武	森本 賢治

( 瀬谷 区 - 3 )

[ 瀬谷 区 子ども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
児童虐待防止対策事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,423					1,423
前年度	1,293					1,293
増△減	130	0	0	0	0	130

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,382	1,380	1,286	予算	事業費	1,423	1,423
	メリット+一般財源	1,382	1,380	1,286		一般財源	1,423	1,423
決算	事業費	1,274	1,280	1,202	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,274	1,280	1,202	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	地域の見守り力を高め、瀬谷区全体で児童虐待の早期発見や予防ができるよう、児童虐待防止対策事業を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>●瀬谷区は、経済的な困窮や多子、若年出産などの課題を複合的に抱えたケースが多いため、適切な育児を行うための支援が必要です。</p> <p>●児童虐待の防止や早期対応をしていくためにも、妊娠時、出産時、子育て中において必要な支援を行っていくとともに、地域や学校等関係機関と連携した支援体制づくりを進めていく必要があります。</p> <p>生活保護率(人口割合R2.3)…市内3位                  多子の割合(出生児比)…H30年市内1位                  19歳以下の母の出生数…H30年市内3位</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等      3 地区担当制度
2 運営方針等との関係	・令和2年度区運営方針 目標達成に向けた施策 『子ども・青少年の育成』 ・瀬谷区地域福祉保健計画 基本目標『隣近所で見守り・支え合う地域づくり』 『誰もが活動に参加する地域づくり』
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、児童虐待防止法 横浜市子ども・子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】

<母親のためのリフレッシュ事業>

	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
参加者数	226	198	160	200

<母親のためのカウンセリング>

	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
相談件数	18	19	26	32

<支援検討会>

	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
開催数	3	4	4	4

<児童虐待防止啓発事業>

	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
関係機関向け研修会	3回	3回	2回	3回

【実施内容】

1 児童虐待防止対策事業

(1) 母親のためのリフレッシュ事業

内容 育児不安の軽減や仲間づくりを進めるため、ふたごを養育している母親や10代の若年の母親等を対象に交流会や教室を実施します。

回数 年13回(ふたごの会3回、ふちママの会10回)

(2) 母親のためのカウンセリング

内容 育児不安が強い母親を対象に、自らが抱える問題に気づき、問題解決を支援するために臨床心理士による個別カウンセリングを実施します。

回数 カウンセリング:年16回(1回2枠)、カンファレンス:年1回

(3) 支援検討会

内容 要支援児童に対する支援策を検討するため、弁護士等を助言者として、関係機関や地域関係団体の実務者による個別ケース検討会及び学習会を実施します。

回数 年4回

2 児童虐待防止啓発事業

(1) 児童虐待防止ネットワークづくり推進事業

内容 地域での見守り力を高め、児童虐待の早期発見、発生防止を進めていくことを目的に、地域の理解を深めるために、児童虐待に関する研修会や地区単位での児童虐待防止ネットワークづくりを進めます。

回数 支援関係者向け研修会(年1回)

エリア別要保護児童対策地域協議会(年2回)

(2) 地域と連携した児童虐待防止啓発事業

内容 主任児童委員や地域の自治会・町内会等と連携して、オレンジリボン及び啓発用グッズの作成・配布や、児童虐待防止啓発パネルの展示など、児童虐待防止の重要性について多くの区民に理解してもらえるよう啓発事業を行います。

時期 児童虐待防止推進月間(11月)やその前後の期間

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
児童虐待防止対策事業	769	639	130	実施方法の充実による増
児童虐待防止啓発事業	654	654	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,423	1,293	130	

【根拠とするデータ等】

人口動態統計、横浜市保健統計年報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	小澤 美奈子	城 可奈子	脇 菜穂子

( 瀬谷 区 - 4 )

[ 瀬谷 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康せや推進事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,986					3,986
前年度	4,987					4,987
増△減	△ 1,001	0	0	0	0	△ 1,001

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	6,911	7,359	5,983	予算	事業費	5,000	5,000
	メリット+一般財源	6,911	7,359	5,983		一般財源	5,000	5,000
決算	事業費	6,756	6,456	5,740	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	6,756	6,456	5,740	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発、市民と行政が連携した健康づくり運動の推進及び地域に根ざした自発的な健康づくりを促進し、市民の生涯にわたる健康づくりに寄与することを目的とします。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	瀬谷区の健康に関する特徴は以下のとおり。 ・がん検診(肺がんを除く)の受診率が低い(18区中13~18位)。 ・喫煙率が高い(「毎日吸っている」18区中5位)。 ・横浜市の生活保護率が1.86%に比して瀬谷区は3.29%と高率である。 ・メタボリック症候群予備軍が多い(特に若い世代において、運動習慣のない人が多い)。 ・「健康づくりに役立つ活動」が地域交流として参加してみたい項目の1位(39.4%)である。(令和元年度区民意識調査結果より) ・複合的な課題を抱えた母子世帯が多い。こどもの育ちに合わせた対応に悩む相談がある。
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート    1 日常の窓口対応等    4 地区懇談会    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	健康・福祉の充実(新型コロナウイルス感染防止を考慮)
3 根拠法令・要綱等	がん対策基本法、健康増進法、感染症法、食育基本法、健康横浜21計画、瀬谷区地域福祉保健計画、第2期横浜市食育推進計画

【実績の推移・今後見込み】

生活習慣病予防推進事業					
年度	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
健康チェック 参加者数	1,292人	1,299人	1,600人	1,600人	
瀬谷区元気フェスタ					
年度	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
参加者数	5,760人	5,780人	中止	500人	
食育・健口事業					
(1) 離乳食はじめ方講座(30年度新規事業)					
参加組数	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
	372組	395組	400組	400組	
(2) 1歳児 食と歯の元気教室					
参加組数	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
	102組	93組	90組	120組	
(3) 離乳食教室					
参加組数	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
	140組	156組	120組	170組	
ウォーキング推進事業					
年度	30年度実績	元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み	
講習会回数	イベント参加人数	講習会	イベント参加人数	講習会	イベント参加人数
	延223人(うち、80人保健活動推進員)	4回	91人(参加者も保健活動推進員)	6回	80人(一般参加者50人、保健活動推進員30人)
講習会参加人数		195人	300人	4回	200人
					150人(保健活動推進員150人)

**【実施内容】**

全ての事業で、新型コロナウイルス感染防止対策をとります。

**1 生活習慣病予防推進事業**

- ・ 区民祭りや乳幼児健診等の場で、広く生活習慣予防に関する啓発活動を行います。
- ・ 駅、スーパーなどで健康チェックを行い、健康づくりに関心のない区民にも啓発を行います。
- ・ 健診啓発強化

参考：5月世界禁煙デー、9月がん征圧月間・自殺予防週間、12月世界エイズデー

**2 瀬谷区元気フェスタ**

公会堂において、瀬谷区医師会、瀬谷歯科医師会、瀬谷区薬剤師会、保健活動推進員等と協働して、健康チェックや健康相談、講演会などを実施します。区民が自分の体を知ることの出来る機会を設け、生活習慣の改善につなげます。また、今年度はコロナ感染拡大防止のため、入場制限、手指消毒等対策を講じたうえで実施します。

**3 食育・健口事業**

平成17年7月に「食育基本法」が施行され、平成28年度から第2期横浜市食育推進計画が策定されました。健康な生活を送るためには、幼少期から適切な生活習慣を身につけることが大切です。そこで、親自身が健康であることの大切さを認識し、子どもが家庭で適切な生活習慣を獲得できるように食生活や食に欠かせない「歯の健康」の視点から支援を進めます。

(1) 離乳食はじめ方講座

4か月児健診受診の保護者を対象に、離乳食のはじめ方、すすめ方について学べる機会を設けます。(年18回)

(2) 離乳食教室

出生数が減少しているが、参加者は増加しており、多様な相談ニーズに対応できるようにするため、相談対応の栄養士を充実します。(年12回)

(3) 1歳児 食と歯の元気教室

・ 1歳児とその保護者を対象に、子どもの発達の特徴をふまえ、幼児食へと切り替わる時期の食生活や口の健康について学べる機会を提供していきます。(年9回)

・ 虫歯予防開始時期の1歳児を持つ母親を対象に虫歯啓発のパンフレットを配布します。

(4) ヘルスメイトアクティブサポートプロジェクト

瀬谷区で食育を推進するボランティア団体「食生活等改善推進員会」について、区民に広く活動をPRするための広報を行います。(年1回)

**4 ウォーキング等健康推進事業**

保健活動推進員やウォーキング団体と連携し、ウォーキングポイント事業を活用しながら、活動の活性化を図ります。区民向けのウォーキングイベントを次年度保健活動推進員が中心となって開催するための研修として、講習会および保健活動推進員を対象としたイベントを開催します。健康推進の取組を、保健活動推進員を中心に地区に展開していきます。

ウォーキング前の準備体操手順を示したチラシを作成し、今後の活動に使用する。

**【事業費の内訳】**

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 生活習慣病予防推進事業	643	791	△ 148	啓発物品見直しによる減
2 瀬谷区元気フェスタ	1,732	2,455	△ 723	開催会場、方法の見直しによる減
3 食育・健口事業	1,222	1,352	△ 130	広報誌発行回数見直しによる減
4 ウォーキング等健康推進事業	389	389	0	
			0	
			0	
事業費合計	3,986	4,987	△ 1,001	

**【根拠とするデータ等】**

- ・ 健康に関する市民意識調査-調査結果概要報告 (H28年度)
- ・ 横浜市衛生研究所健康疫学統計データ集保健指標 (H25年度-H29年度)
- ・ 平成30年度瀬谷福祉保健センター事業報告 瀬谷区の福祉と保健\*衛生
- ・ 区民意識調査 (令和元年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	本間 睦	舟木 文華	米田 靖

[ 瀬谷 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成22年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域福祉保健計画推進事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1
33	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,217					4,217
前年度	5,176					5,176
増△減	△ 959	0	0	0	0	△ 959

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	3,202	3,015	4,775	予	事業費	3,200	3,200
算	メリット+一般財源	3,202	3,015	4,775	算	一般財源	3,200	3,200
決	事業費	2,557	2,824	4,264	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	2,557	2,824	4,264	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	第4期瀬谷区地域福祉保健計画策定及び推進に向けた事業を実施します。
-----------	-----------------------------------

(説明)				
1 地域の課題等	令和3年度から第4期地域福祉保健計画が始まりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、瀬谷区では、第4期計画の策定期の見直しを行い、令和3年10月に計画を確定し、12月の地域福祉保健計画推進シンポジウムにて公表する予定です。第4期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会、地区別計画推進研修会、地域福祉保健計画推進シンポジウム等を開催し、計画を策定・推進していきます。12地区では地区の特性を活かした取組が進んでいますが、地区支援チームの支援と連携が求められています。第4期地域福祉保健計画、福祉保健情報等を広く区民に周知し、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる「暮らしやすいまちづくり」を進めていきます。			
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	目標達成に向けた施策 2. 健康・福祉の充実			
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法、横浜市地域福祉保健計画、瀬谷区地域福祉保健計画、瀬谷区地域福祉保健計画・地区別計画推進事業補助金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度見込み
計画推進シンポジウム参加者数	300	300	350	400	270	250	250	中止	中止	400

【実施内容】

- (1) 瀬谷区地域福祉保健計画の推進
  - ア 第4期地域福祉保健計画策定懇談会
    - 第4期計画策定に向けて、区全域計画策定のための意見交換を行うため、学識者・地域の活動団体の代表者・行政委員を構成メンバーとする策定懇談会を開催します。また、策定懇談会の支援について、コンサルタントへ委託します。
    - 回数：2回（6月、9月）
    - 対象者：区内の福祉保健分野等の代表者 26名
  - イ 地区別計画推進研修会
    - 瀬谷区地域福祉保健計画・地区別計画推進のため、12地区への情報提供・意見交換を行う研修会を実施します。
    - 実施時期：3月
    - 対象者：12地区の代表 70名程度
  - ウ 瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム
    - 第4期計画について、広く区民に周知します。
    - 実施時期：12月
    - 対象者：各地区の地域福祉保健計画地区別計画推進母体、地域団体関係者、一般区民
  - エ 地区別計画推進支援
    - 地区別計画の推進母体である地区社会福祉協議会等に対して、各地区の地区別計画推進に関わる事業の活動経費を補助します。
    - 対象者：12地区 地区社会福祉協議会等

(2) 福祉保健企画運営費

ア センター事業概要作成

福祉保健センター関連の事業・データを掲載した「センター事業概要」を作成します。

イ 農福連携事業の検討【新規】

区内農地等における、農を通じた自立支援・就労支援の取組の検討を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
瀬谷区地域福祉保健計画の推進	3,874	4,651	△ 777	委託の内容変更による減
福祉保健企画運営費	343	525	△ 182	事業廃止等による減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,217	5,176	△ 959	

【根拠とするデータ等】

令和元年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営企画係
	本間 睦	松木 翔	鈴木 穂希

( 瀬谷 区 - 6 )

[ 瀬谷 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成22年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	高齢者支援事業
-----	---------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1~4
17	1~4
28	5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,444					1,444
前年度	1,684					1,684
増△減	△ 240	0	0	0	0	△ 240

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,836	2,074	2,120	予	事業費	1,700	1,700
算	メリット+一般財源	1,836	2,074	2,120	算	一般財源	1,700	1,700
決	事業費	1,026	1,936	2,282	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	1,026	1,936	2,282	有:件名( )、目付(年月)			
無								

事業の概要(目的)	高齢者及びその家族が、いつまでも住みなれた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、認知症や在宅療養等に関し、関係機関とのネットワーク強化と区民への普及啓発を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>高齢化が進展する中で高齢者及びその家族がいつまでも住みなれた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、地域で支える仕組みづくりをより一層強化していきます。瀬谷区では、これまで在宅高齢者サポートネットワークによる多職種との連携を進めてきました。引き続き、各事業を通じたネットワークの強化を図るとともに、区民向け講座による認知症支援、高齢者権利擁護等の普及啓発に取り組みます。</p>																														
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度																													
2 運営方針等との関係	目標達成に向けた施策「健康増進、福祉の充実」																														
3 根拠法令・要綱等	介護保険法、地域保健法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律、老人福祉法																														
【実績の推移・今後見込み】	<p>1 地域包括ケア推進事業</p> <p>瀬谷区は高齢化率が高く、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯の比率も高い。                  高齢化率=市:24.3% 区:27.4%、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯=16.6%・10.5%                  (※いずれもH31.3.31現在)</p> <p>(1) 在宅高齢者サポートネットワーク事業</p> <p>ア 在宅高齢者サポートネットワーク全体連絡会(区レベル地域ケア会議)</p> <table border="1"> <tr> <th>実施回数</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>1回 「見守りツールの活用について」~その後の効果を知る~</td> </tr> <tr> <td>2年度見込み</td> <td>1回 多職種間の連携について等</td> </tr> <tr> <td>3年度見込み</td> <td>1回 見守りツールについて等</td> </tr> </table> <p>イ 多職種交流会(せやまるカフェ)</p> <table border="1"> <tr> <th>実施回数</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>1回 アルコール問題を抱える方への支援について</td> </tr> <tr> <td>2年度見込み</td> <td>1回 ACP(アドバンスケアプランニング)人材育成研修</td> </tr> <tr> <td>3年度見込み</td> <td>1回 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修など</td> </tr> </table> <p>(2) 見守りキーホルダー申込人数(累計)</p> <table border="1"> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度見込み</th> <th>3年度見込み</th> </tr> <tr> <td>1,243人</td> <td>1,900人</td> <td>2,650人</td> </tr> </table>					実施回数	内容	元年度	1回 「見守りツールの活用について」~その後の効果を知る~	2年度見込み	1回 多職種間の連携について等	3年度見込み	1回 見守りツールについて等	実施回数	内容	元年度	1回 アルコール問題を抱える方への支援について	2年度見込み	1回 ACP(アドバンスケアプランニング)人材育成研修	3年度見込み	1回 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修など	元年度	2年度見込み	3年度見込み	1,243人	1,900人	2,650人				
実施回数	内容																														
元年度	1回 「見守りツールの活用について」~その後の効果を知る~																														
2年度見込み	1回 多職種間の連携について等																														
3年度見込み	1回 見守りツールについて等																														
実施回数	内容																														
元年度	1回 アルコール問題を抱える方への支援について																														
2年度見込み	1回 ACP(アドバンスケアプランニング)人材育成研修																														
3年度見込み	1回 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修など																														
元年度	2年度見込み	3年度見込み																													
1,243人	1,900人	2,650人																													
2 認知症地域支援事業	<p>(1) 認知症サポート医・かかりつけ医等との連携</p> <p>認知症医療連携検討会</p> <table border="1"> <tr> <th>実施回数</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>2回 初期集中支援チーム報告、三師会ヒアリング結果報告、SOSネットワーク見守り協力機関拡大の検討</td> </tr> <tr> <td>2年度見込み</td> <td>2回 取組の検討、初期集中支援チーム報告ほか</td> </tr> <tr> <td>3年度見込み</td> <td>2回 取組の検討、初期集中支援チーム報告ほか</td> </tr> </table> <p>(2) 認知症キャラバン・メイト養成講座数・養成数</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度見込み</th> <th>3年度見込み</th> </tr> <tr> <td>講座数</td> <td>12回</td> <td>30回</td> <td>29回</td> <td>30回</td> <td>30回</td> </tr> <tr> <td>養成数</td> <td>945人</td> <td>1,394人</td> <td>1,923人</td> <td>1,300人</td> <td>1,300人</td> </tr> </table>					実施回数	内容	元年度	2回 初期集中支援チーム報告、三師会ヒアリング結果報告、SOSネットワーク見守り協力機関拡大の検討	2年度見込み	2回 取組の検討、初期集中支援チーム報告ほか	3年度見込み	2回 取組の検討、初期集中支援チーム報告ほか	年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込み	3年度見込み	講座数	12回	30回	29回	30回	30回	養成数	945人	1,394人	1,923人	1,300人	1,300人
実施回数	内容																														
元年度	2回 初期集中支援チーム報告、三師会ヒアリング結果報告、SOSネットワーク見守り協力機関拡大の検討																														
2年度見込み	2回 取組の検討、初期集中支援チーム報告ほか																														
3年度見込み	2回 取組の検討、初期集中支援チーム報告ほか																														
年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込み	3年度見込み																										
講座数	12回	30回	29回	30回	30回																										
養成数	945人	1,394人	1,923人	1,300人	1,300人																										
3 高齢期あんしん事業	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度見込み</th> <th>3年度見込み</th> </tr> <tr> <td>エンディングノート書き方講座</td> <td>22回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>カウンセラーによる介護こころ相談</td> <td>7回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> </table>						元年度	2年度見込み	3年度見込み	エンディングノート書き方講座	22回	10回	10回	カウンセラーによる介護こころ相談	7回	6回	6回														
	元年度	2年度見込み	3年度見込み																												
エンディングノート書き方講座	22回	10回	10回																												
カウンセラーによる介護こころ相談	7回	6回	6回																												

**【実施内容】**

**1 地域包括ケア推進事業**

団塊世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるために、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、あらゆる機会を捉えて周知を図ります。また、平成31年2月に開始した高齢者見守りキーホルダー（せや八福札）の利用促進を図り、地域での見守りを進めます。

**(1) 在宅高齢者サポートネットワーク事業**

高齢者の在宅療養を支える支援者同士がより良い連携ができるよう、各職種のスキルアップや、支援者が横につながるような場を提供しながら、ネットワークの強化・充実により、地域包括ケアシステムの構築の推進を図ります。

**【全体連絡会・多職種交流会の開催】**

- ・内容 地域ケア会議の実施等を通じて、高齢者やその家族が、安心して介護を受けながら住み慣れた地域で生活するために、医師会や介護サービス事業者、在宅医療相談室等と連携して、在宅療養生活に関するネットワークづくりを進めます。
- ・実施回数 全体連絡会〔地域ケア会議〕（1回）、多職種交流会（1回）、メーリングリスト部会（1回）
- ・参加機関 医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、在宅医療相談室、近隣病院、居宅介護支援事業所、小規模多機能居宅介護事業所、訪問介護事業所、通所介護事業所、地域包括支援センター、区社協等

**(2) 高齢者見守りキーホルダー（愛称：せや八福札）**

高齢者の徘徊や外出時にもしものことがあった場合でも迅速に身元確認や緊急連絡先への通報ができるよう、登録番号が記載された「見守りキーホルダー」を配付します。緊急時には、病院、警察等が地域ケアプラザに登録情報を照会し、速やかに家族等へ連絡します。

**(3) アドバイザー派遣**

- ・内容 地域包括支援センター等が抱える困難ケース等への助言を行うアドバイザー（専門家）を派遣し、課題解決及びスキルアップを図ります。
- ・派遣回数 3回

**(4) タブレット端末を使用した案内**

窓口対応や訪問の際に、医療機関情報や各種福祉サービスについて相談者がイメージしやすいよう、タブレット端末を用いて案内します。

**2 認知症地域支援事業**

認知症の人及びその家族に対して、必要な時に適切な支援につなげられるよう、地域の医療・福祉関係機関及び地域支援者との連携を強化し、見守りあいの取組を進めます。

**(1) 認知症医療連携**

- ・内容 瀬谷区における認知症に関する現状と課題を踏まえつつ、認知症患者の早期発見・早期受診や見守り協力機関の拡充等のため、地域の一般かかりつけ医と認知症専門医療機関及び地域包括支援センター等の連携を進めます。
- ・実施回数 医療連携検討会（2回）

**(2) 認知症キャラバン・メイト活動支援**

- ・内容 認知症の普及啓発を目的に「認知症キャラバン・メイト」による地域での活動を支援します。区内各所でキャラバン・メイトによるサポーター養成講座を実施し、認知症に関する理解を広めます。
- ・実施回数 包括エリアごとの支援（5か所）、連絡会（2回）

**(3) 認知症地域支援者合同連絡会**

- ・内容 区内で認知症に関連する業務を行う関係機関（キャラバン・メイト、はいかいネットワーク参加機関、地域包括支援センター等）による全体連絡会を開催し、区内の取り組み等を情報共有します。
- ・実施回数 1回

**3 高齢期あんしん事業**

**(1) 成年後見制度等の普及啓発**

- ・内容 高齢者を迎えてもいつまでも安心した生活を送れるよう、区民により身近な地域にある地域包括支援センターと連携し、成年後見制度やエンディングノートなど「備え」のための普及啓発を実施します。
- ・実施回数 通年実施

**(2) 介護者のためのこころ相談**

- ・内容 在宅で高齢者を介護する介護者の精神的問題は、多様化、深刻化しているため、専門のカウンセラーによる相談の機会を設けることで、介護者の精神的負担の軽減を図り、介護を受けている本人及び家族の個別支援や高齢者虐待の防止へとつなげます。

**【事業費の内訳】**

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
高齢者支援事業推進費	0	714	△ 714	地域包括ケア推進事業への統合による減
地域包括ケア推進事業	1,006	250	756	高齢者支援事業推進費、在宅高齢者サポートネットワーク事業を統合したこと等による増
在宅高齢者サポートネットワーク事業	0	90	△ 90	地域包括ケア推進事業への統合による減
認知症地域支援事業	374	550	△ 176	啓発用消耗品購入終了等による減
高齢期あんしん事業	64	80	△ 16	実施回数の減
			0	
事業費合計	1,444	1,684	△ 240	

**【根拠とするデータ等】**

横浜市統計ポータルサイト、介護保険認定関係統計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当 係
	門脇 由美	速水 英子 石丸 雅也	速水 英子 石丸 雅也

[ 瀬谷 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名
高齢者等地域拠点支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	2、4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,520					1,520
前年度	2,520					2,520
増△減	△ 1,000	0	0	0	0	△ 1,000

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,170	1,020	1,520	予算	事業費	1,520	1,520
	メリット+一般財源	1,170	1,020	1,520		一般財源	1,520	1,520
決算	事業費	1,120	1,043	1,439	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,120	1,043	1,439	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	身近な地域におけるひとり暮らし高齢者等の見守り及び生活相談や、地域における多世代の交流による支え合いの推進を図るため、区内の高齢者等地域拠点の活動支援を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>瀬谷区は高齢化率が高く、高齢者単身世帯・高齢者夫婦の世帯の比率も高い。                  高齢化率=市：24.3% 区：27.4%、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯=16.6%・10.5% ※いずれもH31.3.31現在)                  瀬谷区は高齢者が多く住む公営住宅の比率が高い。(市：5.9% 区：12.6% ※H27国勢調査)</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会
-------------	------------	----------	---------

2 運営方針等との関係	施策「健康・福祉の充実」
-------------	--------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業実施要綱 瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業補助金交付要綱 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業実施要綱 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業  
 <高齢者生活相談所「あつて～南瀬谷」利用者実績>

	開所日数	来所者合計(相談者・施設利用者等)	平均来所者数/日		相談者合計				
			来所相談者数	施設見学者・利用者数	来所(再掲)	電話	訪問		
元年度	290日	4,818人	127人	4,691人	16.6人	229人	127人	76人	26人
2年度(見込み)	290日	4,830人	130人	4,700人	16.7人	240人	130人	80人	30人
3年度(見込み)	290日	4,830人	130人	4,700人	16.7人	240人	130人	80人	30人

2 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業  
 <事業見込み>

	開所日数	利用者数	利用者平均人数/日
元年度	267日	7,609人	28.5人
2年度(見込み)	270日	7,700人	28.5人
3年度(見込み)	270日	7,700人	28.5人

【実施内容】

- 瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業
  - 高齢者生活相談所「あつて～南瀬谷」の安定的な拠点運営を図るため、運営支援(事業費補助)を行います。
  - 事業内容：①生活や福祉に関する相談 ②電話訪問等による定期的な見守り ③地域活動に対する場の提供 ④福祉保健情報の収集・発信 ⑤各種講座やイベント情報の提供
  - 運営者：NPO法人せや
  - 実施場所：市営南台ハイツB24棟106号室

2 「ほかほかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業  
「ほかほかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業の推進を図るため、事業支援（事業費補助）を行います。

- ・事業内容：①買物支援事業 ②学習支援事業 ③その他交流事業
- ・実施場所：阿久和南部地区地域福祉・交流拠点「ほかほかプラザ」（県営阿久和団地ショッピングセンター内）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
共通経費	0	20	△ 20	細目事業整理による減
高齢者生活相談所運営支援事業	1,010	2,000	△ 990	備品等の老朽化に伴う改善費用の減
「ほかほかプラザ」支えあい推進事業	510	500	10	細目事業整理による増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,520	2,520	△ 1,000	

【根拠とするデータ等】

横浜市統計ポータルサイト、介護保険認定関係統計、H27国勢調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当 係
	門脇 由美	石丸 雅也	石丸 雅也

( 瀬谷 区 - 8 )

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

No. 9

[ 瀬谷 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者地域生活支援事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1
32	4,5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,430					1,430
前年度	2,054					2,054
増△減	△ 624	0	0	0	0	△ 624

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,109	2,159	2,104	予算	事業費	1,404	1,404
	メリット+一般財源	2,109	2,159	2,104		一般財源	1,404	1,404
決算	事業費	1,922	1,901	1,689	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,922	1,901	1,689	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			
(無)								

事業の概要 (目的)	障害者の地域生活を支援するため、障害理解促進の啓発や、障害者地域自立支援協議会の運営支援等を通じた関係機関のネットワーク作りを進めます。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	障害者支援の地域移行・地域定着が進むなかで、障害者が暮らしやすい地域づくりが求められています。 ・障害者が地域で安心して生活できるよう、地域住民の障害理解の促進が必要です。 ・障害者地域自立支援協議会など関係機関とのネットワーク作りを進め、地域で障害者を支える体制づくりが必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 8 その他
2 運営方針等との関係	瀬谷区運営方針 施策「健康増進、福祉の充実」 瀬谷区地域福祉保健計画 基本目標1「隣近所で見守り・支え合う地域づくり」
3 根拠法令・要綱等	障害者基本法、知的障害者福祉法、身体障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法

【実績の推移・今後見込み】

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
自立支援協議会交流会議 開催回	3回	3回	3回	2回	3回
福祉事業所駅前販売 開催回数	2回	4回	3回	3回	4回
自殺対策啓発講演会 参加人数	235人	330人	中止	40人	80人
ゲートキーパー研修 受講者数	27人	37人	60人	15人	30人

\*令和元、2年度は、コロナ対応により規模や回数の減あり

【実施内容】

- ネットワーク活動  
障害者地域自立支援協議会の運営を通して、障害者支援機関のネットワーク作りを進めます。
- 障害理解促進事業  
障害理解出前講座や障害者と区民との交流イベント等を実施し、地域の障害理解を促進します。
- 自殺対策啓発事業  
自殺対策啓発講演会、ゲートキーパー養成研修を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ネットワーク活動	430	404	26	コロナ対策物品購入による増
障害理解促進事業	450	1,100	△ 650	まんまるフェスタ休止による減
自殺対策啓発事業	550	550	0	
事業費合計	1,430	2,054	△ 624	

【根拠とするデータ等】

自殺者数・自殺率 (全国、横浜市、瀬谷区)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当 係
	門脇 由美	入間田 浩子	入間田 浩子

[ 瀬谷 区 地域振興 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費	性質・ 課題区分	防災 交通安全	事業開始年度	平成22年度
------	----------------------------	-------------	------------	--------	--------

事業名	まちの安全支援事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,604	250				5,354
前年度	4,779	0				4,779
増△減	825	250	0	0	0	575

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,862	4,696	4,379	予算	事業費	5,604	5,604
	メリット＋一般財源	4,862	4,696	4,379		一般財源	5,604	5,604
決算	事業費	4,831	4,568	4,246	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット＋一般財源	4,831	4,568	4,246	有:件名( )、日付(年月日)			

事業の概要 (目的)	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、関係団体との連携を図りながら、区民の防犯・交通安全意識の啓発・向上を図ります。また、駅周辺において放置自転車対策を実施します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	市内・区内で特殊詐欺の発生件数が増加傾向にある為、地域防犯に関する啓発活動が必要です。また、区内で発生する交通事故のうち、こども・高齢者に関する事故が多く割合を占めているため、こども・高齢者への啓発活動を行います。さらに、駅周辺における放置自転車対策を実施します。(道路局へ区配予算の要望書を提出。)		
----------	--	--	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	区運営方針〔施策〕安全・安心のまちづくり
-------------	----------------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区地域防犯自主活動補助金交付要綱、瀬谷区防犯活動団体補助金交付要綱、横浜市自転車等の放置防止に関する条例、自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、スクールゾーン推進組織活動費補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- 区内犯罪認知件数の推移(1月～12月)

年	平成29	平成30	令和元
件数	643	708	757
- 区内特殊詐欺認知件数の推移(1月～12月)

年	平成29	平成30	令和元
件数	33	49	67
- 区内人身事故発生件数の推移(1月～12月)

年	平成29	平成30	令和元
件数	549	494	412
- 区内駅周辺放置自転車・バイク台数の推移(11月、平日1日定点調査)

年	平成29	平成30	令和元
瀬谷駅	36	57	89
三ツ境駅	27	27	16

- 【実施内容】
- 地域防犯支援事業
    - 「地域ふれあい110番」事業
    - 防犯啓発事業
    - 防犯活動団体等補助事業
  - 交通マナーアップ事業
    - ストップ・ザ・放置自転車
    - こどもと高齢者の交通安全対策
    - スクールゾーン対策助成等
    - 交通安全対策協議会運営
    - 交通安全キャンペーン
- 【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域防犯支援事業	1,945	1,195	750	新規事業による増
交通マナーアップ事業	3,659	3,584	75	実績に基づく増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,604	4,779	825	

【根拠とするデータ等】  
犯罪認知件数の推移、人身事故発生件数の推移、横浜市内鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩上 教行	曾宮 幸之助	小野寺 聡

[瀬谷区 総務課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成22年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	災害等対策事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	12,011					12,011
前年度	11,567					11,567
増△減	444	0	0	0	0	444

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	8,948	8,243	11,253	予算	事業費	12,011	12,011
	メリット+一般財源	8,948	8,243	11,253		一般財源	12,011	12,011
決算	事業費	10,473	9,223	12,300	方針に関する決裁種別( )			
	メリット+一般財源	10,473	9,223	12,300	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			

事業の概要(目的)	防災訓練や研修会を継続して開催するとともに、新たに感震ブレーカー設置補助事業を実施することで、区民の自助・共助意識の向上を図ります。災害対策では、区災害対策(警戒)本部運営において適切な対応をすることで、被害を最小限にし、災害時医療体制の整備や災害対策備蓄品の充実等、区の災害対策の機能強化を目的に事業を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が実施する防災力向上に向けた取組の練度・習熟度の面で差があり、自助・共助のさらなる啓発による区内の防災力向上を図る必要があります。</li> <li>・区内各防災関連団体の取組の情報共有を進めるなど、発災時の実践的連携につながるよう啓発等を強化する必要があります。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	II 目標達成に向けた施策 3 安全・安心のまちづくり
3 根拠法令・要綱等	瀬谷区災害ボランティア育成事業補助金交付要綱・瀬谷区災害医療連絡会議設置要綱・横浜市防災計画・瀬谷区感震ブレーカー等設置推進事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】											
(区本部設置回数)	<table border="1"> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> </tr> <tr> <td>15回</td> <td>18回</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>13回※</td> </tr> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	15回	18回	12回	14回	13回※
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度							
15回	18回	12回	14回	13回※							

※8月末日現在

【実施内容】	
1 地域防災関係事業	
(1) 地域防災力向上事業	防災総合講座、体験型プログラムを実施するとともに、自治会町内会等地域での訓練や研修会の支援や、感震ブレーカーの設置補助を行います。
(2) 町の防災組織機能強化事業	地域の初期消火能力向上の取組や町の防災組織の体制づくり等を支援します。
(3) 災害時ペット対策事業	災害時に必要な備えやしつけについて記載した啓発チラシやペット手帳を配付して啓発するとともに、ペット同行避難を普及するために地域防災拠点で訓練やシミュレーションを行います。
(4) 地域防災拠点訓練(震災対策訓練)	地域防災拠点 区内15箇所の小中学校等で、年2回(秋季・冬季)実施予定です。(秋季は防災週間、冬季は防災とボランティア週間を中心に実施します)
(5) 水害対策訓練	住民避難訓練、図上訓練を実施します。(瀬谷第二連合、本郷地区連合、瀬谷北部町内連合で実施予定)
(6) 災害ボランティア支援事業	瀬谷区災害ボランティアネットワークの自主活動の支援を図ります。災害ボランティア講習会(訓練)を開催します。年2回(社会福祉協議会会議室等)です。
(7) リアルタイム浸水警報事業	区内2ヶ所に設置した水位計により、水位警報を周辺住民に伝達し、注意喚起を図るとともにデータを区役所に集約し、水害対策に活用します。 ・設置箇所：阿久和川三ツ境大原公園付近及び大門川本郷三丁目公園付近 ・警告方法：サイレン及び回転灯
(8) 防災スピーカー運用及び維持管理	瀬谷六丁目及び周辺の境川浸水想定区域に設置される4基のスピーカーの運用に伴い、避難勧告等の情報を周辺住民に伝達し、避難行動に繋げるとともに、維持管理を実施します。

2 災害時医療体制整備事業

- (1) 区災害医療連絡会議等の開催  
行政(区役所・警察・消防)と医療関係団体による区災害医療連絡会議等を開催し、情報共有を図ります。
- (2) 医療従事者向け研修  
区内の医療従事者(医師・看護師・薬剤師・医療機関職員・区保健師)等を対象に、三密対策として受講者の接触機会削減等の見直しを行い、リモートでの研修を実施します。
- (3) 災害時医療体制の啓発  
災害時医療のリーフレットの配布や、災害時のぼり旗掲出訓練を実施し、区民へ啓発します。

3 区本部運営関係事業

- (1) 区災害対策(警戒)本部の設置  
気象警報・水防警報・地震発生等に併い設置します。瀬谷区災害対応当番班等要員が区役所に参集し、本部を設置・運営します。
- (2) 区本部運営訓練  
区災害対策本部の機能強化のため、年2回(秋季・冬季)実施します。
- (3) 合同水害対策  
関係機関相互で情報共有を図り、連携強化します。
- (4) 防災対策連絡協議会  
区内防災関係機関等と防災対策について情報共有と連絡調整を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域防災力向上事業	8,650	8,345	305	防災スピーカー保守費用の実績に伴う増
災害時医療体制整備事業	1,032	722	310	郵送費用の増
区本部運営関係事業	2,329	2,500	△ 171	区民生活・防災マップ隔年発行による減
事業費合計	12,011	11,567	444	

【根拠とするデータ等】

震度、各種警報発令、河川水位量、気象データ、「横浜市民の危機管理アンケート調査」等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	鈴木 康幸	志村 公春	今野 大哉

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	動物愛護・適正飼育 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名 食の安全と動物愛護等推進事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号   主な施策番号	事業評価 書番号   該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本年度	778					778
前年度	1,074					1,074
増△減	△ 296	0	0	0	0	△ 296

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	940	863	1,072	予算	事業費	1,000	1,000
	メリット+一般財源	940	863	1,072		一般財源	1,000	1,000
決算	事業費	796	766	1,208	方針に関する決裁 種別( )			
決算	メリット+一般財源	796	766	1,208	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉施設、学校行事、地域活動での食中毒・感染症予防のために、衛生講習会や予防啓発を実施する。</li> <li>・ペット飼育のマナー向上や動物愛護精神の涵養のために、マナー向上啓発や飼い主向け講習会を実施する。</li> <li>・飼い主のいない猫問題への対策として、市民ボランティア等との協働により不妊去勢手術と適正管理を推進する。</li> </ul>
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノロウイルス等による食中毒や新型コロナウイルスによる感染症について、蔓延のリスクが高い保育園・幼稚園や小学校、高齢者施設等の自主衛生管理の定着と推進が必要</li> <li>・地域の催事やボランティア活動、学校行事等では食品が提供される機会が多く、こうした活動の衛生確保のために継続的支援が必要</li> <li>・ペットの飼育に関する苦情は多く寄せられており、飼い主のマナー向上や動物愛護の推進に向けた継続的な啓発が必要</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等      7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	区政運営方針の目標達成に向けた施策「安全・安心のまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生法      ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律</li> <li>・動物の愛護及び管理に関する法律      ・横浜市猫の適正飼育ガイドライン 他</li> </ul>

【実績の推移・今後見込み】

衛生講習会					飼い犬への苦情			猫への苦情				
	29年度	30年度	元年度	R2年度見込み	受付 件数	29年度	30年度	元年度	受付 件数	29年度	30年度	元年度
開催回数(回)	35	21	24	10	85	131	85		158	244	107	
参加人数(人)	1015	750	619	500					121	220	291	

【実施内容】

細目事業名	実施内容
食中毒・感染症予防対策事業	・社会福祉施設等への衛生点検、啓発 ・学校行事・地域行事・配食サービス等の実施団体への啓発
動物愛護普及啓発事業	・犬の飼い主向けマナー向上啓発 / 飼い主向けペットの災害対策啓発 ・新たな犬の飼い主向け「犬のしつけ方教室」 / 長寿動物の優良飼主表彰
飼い主のいない猫対策支援事業	・市民による飼い主のいない猫の不妊去勢手術実施を支援 ・地域・市民ボランティア等と協働による地域での猫との共生を目指した啓発・広報活動

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食中毒・感染症予防対策事業	386	627	△ 241	消耗品の減による減
動物愛護普及啓発事業	192	247	△ 55	在庫活用による消耗品費の減
飼い主のいない猫対策支援事業	200	200	0	
事業費合計	778	1,074	△ 296	

【根拠とするデータ等】  
令和元年度食中毒発生状況、令和元年度年度動物業務月報、平成30年度動物愛護管理関係業務概要

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活衛生 係
	亀井 昭夫	白川 冬	白川 冬

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成23年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
瀬谷の魅力発信・名所づくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	7
9	1
13	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,355		275			7,080
前年度	6,644		350			6,294
増△減	711	0	△75	0	0	786

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	5,750	6,681	8,594	予算	事業費	7,800	7,800
	メリット+一般財源	5,750	6,681	8,594		一般財源	7,800	7,800
決算	事業費	5,633	5,835	9,102	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	5,633	5,835	9,102	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	水・緑豊かな環境や歴史、瀬谷の逸品などの“地域資源”を活用した様々な取組により、瀬谷の魅力を総合的・継続的に発信します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・区民に瀬谷区の様々な魅力を知ってもらうことで、瀬谷区に対する愛着を持ってもらい、地域の活性化と区民満足度の向上につなげていく必要がある。</p> <p>・令和元年度区民意識調査では、瀬谷区民の定住意向は74.5%であり、市全体(64.8%)よりも高いものの近隣区(H30 旭区 79.3%)と比べると低い結果が出ている。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」新たな魅力の創出や自然・歴史などの地域資源の活用により、瀬谷の魅力を発信
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

- 元年度
  - (1)瀬谷オープンガーデン(開催：4月19日～21日、5月10日～12日、見学者アンケート回答数：618名、次年度募集：10～11月)
  - (2)和泉川魅力PR事業(8月)
  - (3)アジサイの名所づくり事業(6月)
  - (4)バラのおもてなし事業(公共施設への折り紙作品展示：5～6月、区庁舎へのプリンター設置：10月)
  - (5)せやまる大花壇事業(設置時期：～5月及び9月～10月)
  - (6)イルミネーション事業(12月)
  - (7)「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」制作事業(発行：10月、編集会議：4～3月/月1回程度)
  - (8)瀬谷ふるさと歴史さんぽ道事業(ガイドマップ配布、ウォーキング参加者への記念品交付：通年)
- 2年度
  - (1)国際園芸博覧会機運醸成事業
  - (2)瀬谷の魅力オープンガーデン事業(区ホームページやInstagramによる情報発信、次年度募集：10月)
  - (3)せやマルシェ(11月)
  - (4)イルミネーション事業(11月～12月)
  - (5)アジサイの名所づくり事業(PR：6月～7月、管理：通年)
  - (6)瀬谷の歴史・見どころ発信事業(瀬谷の史跡めぐりガイドブック販売、ガイドマップ配布、記念品交付)

【実施内容】

- 国際園芸博覧会機運醸成事業  
内容：国際園芸博覧会の開催に向けて、区民・関係団体・行政等が一体となって機運を醸成する取組を継続的に実施します。
- 定住促進に向けた魅力PR事業  
内容：区の転出超過を防ぐため、人口流入及び定住促進に向けた、区の認知度向上のための情報発信を行います。
- 瀬谷の魅力オープンガーデン事業  
内容：個人宅の庭や、公園の花壇等を、瀬谷区の魅力的な名所として巡っていただくオープンガーデン事業を実施します。  
実施時期：開催(4～5月)、次年度募集(10～11月)、ガーデニング講座(秋季)

- 4 セヤマルシェ  
内容：水・緑豊かな自然を生かした取組みの一つとして、「農」を通じた取組みを行うことで、区の新たな魅力を区内外に発信します。  
実施時期：11月
- 5 イルミネーション事業  
内容：冬季の新たな魅力を創出するため、企業等と連携しながら、イルミネーションイベントを実施します。
- 6 アジサイの名所づくり事業  
内容：区制50周年を記念し植樹したアジサイについて、新たな瀬谷区の名所として発信します。  
また、ボランティア団体等と連携を図りながら、維持管理を行います。
- 7 瀬谷の歴史・見どころ発信事業  
内容：令和元年10月に発行した「瀬谷史跡めぐりガイドブック」の販売を行うことで、区民の方々に瀬谷の歴史や魅力を知るきっかけを創出します。  
併せて、「瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップ」を配布し、瀬谷の魅力を発信します。
- 8 各種ツールによる魅力PR事業  
内容：イベント、インターネット、タウン誌などのさまざまな媒体を活用し、瀬谷の魅力を発信します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
国際園芸博覧会機運醸成事業	1,015	1,000	15	会議開催による増
定住促進に向けた魅力PR事業<新規>	1,500	0	1,500	新規事業による増
瀬谷の魅力オープンガーデン事業	1,048	1,488	△ 440	バスツアー実施見合わせによる減
セヤマルシェ	260	100	160	2年度実績に基づく増
イルミネーション	2,210	2,500	△ 290	2年度実績に基づく減
アジサイの名所づくり事業	640	700	△ 60	2年度実績に基づく減
瀬谷の歴史・見どころ発信事業	202	376	△ 174	記念品配布事業終了による減
各種ツールによる魅力発信事業	480	480	0	
事業費合計	7,355	6,644	711	

【根拠とするデータ等】

令和元年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	八子 俊昇	道原 洋介	岡本 有生

[ 瀬谷 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成18年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	まちづくり推進事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	5
38	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,514					6,514
前年度	6,130					6,130
増△減	384	0	0	0	0	384

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	5,206	4,646	5,888	予算	事業費	6,200	6,200
	メリット+一般財源	5,206	4,646	5,888		一般財源	6,200	6,200
決算	事業費	4,177	4,722	4,959	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	4,177	4,722	4,959	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	時代とともに変化する区民ニーズを捉え、いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりに向けた施策に取り組んでいきます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等  
いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりを推進していくためには、時代とともに変化する区民ニーズを迅速かつ的確に捉え、運営方針や様々な施策に反映させる必要があります。また、施策の推進のためには区民の意向を十分に踏まえ、関係機関との連絡・調整などを行う必要があります。特に旧上瀬谷通信施設において、土地利用の検討が進められるとともに国際園芸博の開催にむけて取り組んでおり、そうした状況を踏まえ、より一層区民意向の把握や関係機関との連絡調整に取り組むことが求められています。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係  
令和2年度 瀬谷区運営方針  
II. 目標達成に向けた施策「魅力の創出、区民協働の推進」

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】  
◆元年度  
・上瀬谷通信施設返還対策協議会における検討  
・区民意識調査の実施  
・瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会における広場活用の検討  
◆2年度  
・上瀬谷通信施設返還対策協議会における検討  
・瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会における広場活用の検討

【実施内容】  
1 まちづくり調整  
暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりを実現するため、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関する検討を始めとした、区のまちづくりに関する区民や関係機関との連絡調整等を行います。特に国際園芸博の玄関口となる瀬谷駅北口において、賑わいを創出するための仕組みを検討します。  
2 区民文化センター愛称募集  
令和4年3月に実施予定のオープニングセレモニーへ、愛称を考案した最優秀受賞者を招待します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 まちづくり調整	6,509	6,000	509	事業推進による増
2 区民文化センター愛称	5	130	△ 125	選考委員会終了による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,514	6,130	384	

【根拠とするデータ等】

令和元年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	八子 俊昇	竹本 健吾	村野 晃代

[ 瀬谷 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	水・緑環境保全 環境美化	事業開始年度	平成21年度
------	----------------------	-------------	-----------------	--------	--------

事業名	環境行動推進事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	3
12	1

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,499					2,499
前年度	2,770					2,770
増△減	△ 271	0	0	0	0	△ 271

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,824	1,950	2,576	予算	事業費	1,900	1,900
	メリット+一般財源	1,824	1,950	2,576		一般財源	1,900	1,900
決算	事業費	1,576	1,898	1,864	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,576	1,898	1,864	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			

事業の概要 (目的)	区民が身近で気軽に取り組むことができる温暖化防止行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、行動への一助とします。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

地球温暖化の主な原因であるCO<sub>2</sub>の排出量のうち、横浜市では家庭からの排出量が占める割合が日本全国と比較して高いのが特徴です。そこで、家庭からのCO<sub>2</sub>排出量削減のため、区民が家庭でできる省エネや緑化などの身近な温暖化防止行動を実践しやすくなるような支援が求められています。特に行動を起こしていない人の後押しをするため普及啓発に重点を置くと同時に、子どもの頃から環境行動に慣れ親しんでもらうことで、次世代への効果的な意識付けを行う必要があります。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
-------------	-----------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係 令和2年度瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力の創出・区民協働の推進」

3 根拠法令・要綱等 地球温暖化対策の推進に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

<緑のサポーター(区民ボランティア)による花苗の育成数>

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
約3,000	約3,000	約3,000	約2,500

<クールシェア参加者数>

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1,020人	1,130人	1,150人	—

【実施内容】

1 環境行動普及啓発事業

(1) 啓発・広報活動  
多くの区民に環境行動について知ってもらうため、区民祭り等の区内イベントを通じた啓発活動や、幅広く継続した広報活動に取り組みます。

(2) 環境保全イベントの実施  
スポーツ感覚で楽しみながらごみ拾いを行い、環境行動に親しむとともに、地域を知る取組を実施します。

2 緑化推進事業

(1) 緑のサポーター(区民ボランティア)による花苗の育成と緑化推進  
継続した区内の緑化推進等を目的として、以下のことを行います。  
・花まる育苗センター(通称)において、緑のサポーターによる花苗や緑のカーテン用苗等の育成を行う。  
・公共施設(保育園、小学校等)、自治会館等へ花苗や緑のカーテン用苗等を提供し、緑のサポーターによる苗の植え付け作業の指導や作業補助を行う。  
・区内保育園、小学校に緑のカーテン資材を配布し、環境学習の機会を提供する。

(2) 二つ橋高等特別支援学校生徒による花苗等の育成  
二つ橋高等特別支援学校と連携し、授業における職業訓練の一環として、生徒に緑の大切さを学びながらアジサイ等の苗木を育ててもらいます。  
育てた苗木は区民祭りで配布し、区内の緑化に貢献します。

3 節電啓発事業

(1) おうちで節電! 2週間チャレンジ  
家にいながら取り組むことができる節電行動をPRし、日頃からの節電の習慣づけを推進します。

(2) ウォームスタイル瀬谷  
夏よりも省エネ効果が高いと言われている冬の節電をPRし、家庭での取組を推進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
環境行動普及啓発事業	997	1,097	△ 100	仕様の見直しによる減
緑化推進事業	892	823	69	保育園・小学校配布資材の拡充による増
節電啓発事業	610	850	△ 240	仕様の見直しによる減
			0	
事業費合計	2,499	2,770	△ 271	

【根拠とするデータ等】

令和元年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	八子 俊昇	道原 洋介	樋口 智子

( 瀬谷 区 - 15 )

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名 瀬谷区3R夢推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業 ○	11	6	12	2	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,955					1,955
前年度	2,155					2,155
増△減	△ 200	0	0	0	0	△ 200

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
決算	1,700	1,700	1,955	一般財源	2,155	2,155
決算	1,675	1,689	1,706	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、目付(年月) 無		
決算	1,675	1,689	1,706			

事業の概要(目的)	区民が身近で気軽に取り組むことができる3R行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、3R夢プランを一層推進します。また、まちの美化、ごみの減量化・資源化に取り組み、ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスの削減を目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等  
家庭から出るごみと資源の総量を減らし、ごみ処理に伴う温室効果ガスの総量を削減することが求められています。地域への3R行動の普及啓発に重点を置くと同時に、子どもの頃から環境行動に慣れ親しんでもらうことで、次世代への更なる3R行動の推進を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	-----------	--------

2 運営方針等との関係  
・目標達成に向けた施策「魅力の創出・区民協働の推進」

3 根拠法令・要綱等  
・横浜市一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン推進計画)  
・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

一人1日あたりのごみと資源の総量						
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)	
g/人・日	613	608	600	604	594	

【実施内容】

(1) 3R夢啓発  
ヨコハマ3R夢プランを推進するため、区民が取り組みやすい啓発を地域、環境事業推進委員、消費生活推進員、資源循環局瀬谷事務所と連携しながら進めます。環境汚染問題や温室効果ガス発生など環境負荷増大の一因となるプラスチック対策に取り組みます。また、保育園児・小学生等を対象に、紙芝居、買い物ゲーム、収集車を活用した出前教室(収集体験)などを実施します。

(2) リユース文庫  
読み終えて必要でなくなった本を繰り返し使ってもらう文庫の運営を継続します。

(3) 子育て世帯3R夢推進事業  
子ども家庭支援課と連携し、3歳児健診やこどもにちは赤ちゃん訪問の際におむつの出し方等の啓発チラシ・グッズを配布します。

2 きれいなまちづくり推進事業

(1) 区民清掃活動の推進  
資源循環局瀬谷事務所や土木事務所などの関係部署と連携し、年間を通して各地域の団体が実施する地域清掃活動を支援します。

(2) クリーンストリート事業  
まちの美化を促進するため、区内の使っていない公有地に地域のクリーンストリート団体が植栽活動をするための花苗配布等の支援をします。

(3) 不法投棄防止事業  
区内不法投棄多発地域の不法投棄を防ぐため、不法投棄防止警報システムの維持・管理を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
3R夢推進事業	1,570	1,770	△ 200	啓発費用の減
きれいなまちづくり推進事業	385	385	0	
事業費合計	1,955	2,155	△ 200	

【根拠とするデータ等】  
ごみと資源の総量実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	澤野 仁晴	長田 弘房	長田 弘房

[ 瀬谷 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費 文化・スポーツ・学習振興費 文化・スポーツ・学習振興費	性質・ 課題区分	地域コミュニティ 生涯学習 文化・スポーツ	事業開始年度	平成22年度
------	---	-------------	-----------------------------	--------	--------

事業名	区民活動支援事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
4	5

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	12,004					12,004
前年度	9,387					9,387
増△減	2,617	0	0	0	0	2,617

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
					予	事業費	12,004
算	事業費	7,339	6,883	8,549	算	一般財源	12,004
	メリット+一般財源	7,339	6,883	8,549			12,004
決	事業費	7,864	7,178	8,806			
算	メリット+一般財源	7,864	7,178	8,806			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	区役所が地域社会と協働して地域の活性化・地域力の向上を図るために、区民の活動を様々な視点から支援します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	区役所は区民・地域団体とコミュニケーションを密にし、区民の活動を様々な視点から支援し、地域の課題解決につなげ、協働して地域振興を図る必要があります。
----------	--

併せて、協働によるまちづくりをより推進するために、区民同士の交流やネットワークづくりを支援するとともに、人材育成や新たな区民活動団体の育成が必要です。

また、就労目的等で外国人が増える中、既存の日本語講師ボランティアグループの高齢化およびコロナ禍において活動が停滞しているなどの課題があり、増加するニーズに対応しきれていない状況です。日本語講師ボランティアを増やすことや地域における多文化共生の推進を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	魅力の創出・区民協働の推進
-------------	---------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区いきいき区民活動支援補助金交付要綱、横浜市民協働条例、生涯学習基本構想第3次計画、瀬谷区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、瀬谷区自治会町内会広報掲示板整備事業補助金要綱、瀬谷区生き生き区民顕彰要綱、瀬谷区体育協会補助金交付要綱、瀬谷区区学校スポーツ振興補助金要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、第二次横浜市民読書活動推進計画、第二次瀬谷区読書活動推進目標、横浜市中期計画
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 いきいき区民活動支援事業	単位：回				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
補助金交付団体数	23	17	16	18	22
2 生涯学習支援事業	単位：回				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
生涯学習講座数	5	3	3	4	3
3 国際交流支援事業(新規事業)	単位：回				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
日本語講師ボランティア講座	-	-	-	-	5
日本語講師フォローアップ講座	-	-	-	-	5
4 読書との出会い応援事業	単位：回				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
情報共有会議・懇談会	5	4	2	3	3
小学校図書館巡回読書リレー	4	4	4	3	4
講座・読書フェスタ等	1	12	15	4	3
5 スポーツ振興事業	単位：回				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
種目区民大会・スポーツ教室	70	75	70	70	70
6 地域活動推進事業	単位：千円				
事業項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
依頼業務負担軽減事業	826	862	847	1,132	1,102
自治会町内会長感謝会	601	623	849	787	771
自治会町内会掲示板補助事業			550	550	550
7 生き生き区民顕彰事業	単位：回				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込
被顕彰者数(個人)	21	23	36	16	27
被顕彰者数(団体)	2	1	3	4	2

【実施内容】

- 1 いきいき区民活動支援事業
  - (1) いきいき区民活動支援補助金  
区内で自主的に活動している団体が実施する地域の課題解決や活性化につながる事業及び活動に対し、補助金を交付します。
  - (2) 区民活動応援事業（新規事業）  
区民活動の拠点を担う瀬谷区民活動センターを中心に、団体と関係施設等のネットワークづくりや既存団体の活動支援及び新たな区民活動団体の創出を目的とした講座や交流会等を開催し、区民活動の活性化を推進します。また、活動者や活動団体が自主的かつ継続的な活動を行えるよう、区民活動センターの相談・コーディネーター機能の強化を図ります。
  - (3) 地域人材発掘・育成事業  
若年層や子育て世代、リタイア層など様々な世代の区民の方々に地域活動の重要性を知り関心を持ってもらう「人材発掘事業」を展開するとともに、発掘した人材のステップアップとして「人材育成事業」を実施します。
- 2 生涯学習支援事業  
区民活動や仲間づくりのきっかけとして、区民の方々の学びの場を提供する生涯学習講座を実施します。
- 3 国際交流支援事業（新規事業）  
外国語を母国語とする方へ日本語を教える日本語講師ボランティア育成講座を開催し、地域で活動するボランティアを増やすとともに多文化共生を推進します。
- 4 読書との出会い応援事業  
第二次瀬谷区読書活動推進目標達成に向けて、読書活動を実施します。
  - (1) 読書活動啓発事業  
読書活動の担い手の拡大やスキルアップのための講座、読書活動の啓発等を実施します。また、小学校に学年別お勧めセット本を貸し出し、児童が書いた紹介・推薦文を区内小学校に巡回する小学校図書館巡回読書リレーを実施します。（年4校）
  - (2) 瀬谷区読書スタンプラリー事業  
区内小・中学生を対象に本を読んだらスタンプを押し、ゴールまで達成すると記念品がもらえる読書スタンプラリーを実施し、読書習慣の定着化と読書の推進を図ります。
  - (3) 学校図書館等連携事業  
児童の読書機会を増やすことを目的に図書館と区内の小学校や保育園と連携を図り、本の団体貸出しを行います。また、障害者の読書活動の推進を図ることを目的に区内養護学校等への団体貸出を追加します。
- 5 スポーツ振興事業
  - (1) スポーツ振興事務  
東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた啓発事業、トップスポーツチームとの連携事業等を行い、スポーツの振興を図ります。
  - (2) 体育協会補助事業  
加盟種目協会（22団体）で構成される区体育協会に補助金を交付し、区民スポーツ大会・教室等の地域スポーツ活動を支援します。また、瀬谷区学校スポーツ振興補助金交付要綱に基づき、中学校におけるスポーツの部活動の支援を行い、青少年のスポーツ振興を図ります。
- 6 地域活動推進事業
  - (1) 依頼業務負担軽減事業  
自治会町内会への各種依頼資料等の配送をします。（年10回実施）
  - (2) 自治会町内会長感謝会  
自治会町内会長の協働に感謝の意を表し、永年在職等会長の慰労・感謝及び区長との意見交換を実施します。（年1回）
  - (3) 自治会町内会掲示板補助事業  
自治会町内会で所有している、またはこれから所有する掲示板に対して、整備のための補助金を交付します。
- 7 生き生き区民顕彰事業  
地域活動やスポーツなどの分野で区民を元気づけるような、生き生きとした活動をされている方を顕彰します。なお、被顕彰者は、地域や学校等から推薦を受けた方の中から、区民の代表者等を委員とする懇談会の意見を参考に決定します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 いきいき区民活動支援事業	6,265	4,296	1,969	新規事業による増
2 生涯学習支援事業	253	406	△ 153	講座内容の変更による減
3 国際交流支援事業	610	0	610	新規事業による増
4 読書との出会い応援事業	1,683	1,590	93	参加者増による増
5 スポーツ振興事業	510	410	100	補助金項目増による増
6 地域活動推進事業	2,423	2,469	△ 46	設営委託実績による減
7 生き生き区民顕彰事業	260	216	44	顕彰対象人数に伴う増
事業費合計	12,004	9,387	2,617	

【根拠とするデータ等】

自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民協働推進係
	岩上 教行	古尾谷 節子	平山 茉莉香

[ 瀬谷 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	瀬谷フェスティバル
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,900					7,900
前年度	6,700					6,700
増△減	1,200	0	0	0	0	1,200

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,500	5,000	6,500	予算	事業費	7,900	7,900
	メリット+一般財源	4,500	5,000	6,500		一般財源	7,900	7,900
決算	事業費	4,140	5,043	6,332	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	4,140	5,043	6,332	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			
( 無 )								

事業の概要(目的)	区民の連帯感を深め、ふるさと意識の高揚を図るためのイベントとして開催します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬谷で暮らすことの幸せを実感していただけるよう、区が進める「幸せが実感できる瀬谷づくり」の定着を図る必要があります。</li> <li>・協働により潤い溢れる地域社会を形成するためのツールとして、区民や団体・ボランティア、企業など関係する多くの方々の参画を得て開催します。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	魅力の創出・区民協働の推進
3 根拠法令・要綱等	瀬谷フェスティバル実行委員会規約、瀬谷フェスティバル補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度(※)	30年度実績	元年度実績	2年度(※)	3年度見込
出店ブース数	124ブース	121ブース	110ブース	110ブース	102ブース	-	83ブース
フリーマーケット	77ブース	73ブース	65ブース	49ブース	44ブース	-	-
来場者数	65,000人	60,000人	-	60,000人	65,000人	-	48,000人

※29年度は荒天中止のため、中止決定前の予定数。2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

【実施内容】

区民が一体となった、瀬谷区最大のイベントとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた瀬谷フェスティバルを開催するため、瀬谷フェスティバル実行委員会に補助金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
瀬谷フェスティバル	7,900	6,700	1,200	委託費の増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	7,900	6,700	1,200	

【根拠とするデータ等】

過去開催実績(出店ブース数、ステージイベント、フリーマーケット出店数)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩上 教行	曾宮 幸之助	柳沼 佑成

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商工業元気アップ事業
-----	------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,505					3,505
前年度	4,705					4,705
増△減	△ 1,200	0	0	0	0	△ 1,200

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算	2,747	3,317	4,267	予算	3,505	3,505
メリット+一般財源	2,747	3,317	4,267	一般財源	3,505	3,505
決算	2,738	3,301	3,912	方針に関する決裁 種別( )		
決算	2,738	3,301	3,912	有:件名( )、日付(年月)		

事業の概要(目的)	区役所が地域と協働して商工業の活性化を図ります。
-----------	--------------------------

(説明)

1 地域の課題等	区役所は、区民個人・団体とコミュニケーションを密にし、協働して地域振興を図る必要があります。そのため、商工業の活動を様々な視点から支援し、課題解決につなげる必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	魅力の創出・区民協働の推進
3 根拠法令・要綱等	商店街元気づくり事業補助金交付要綱、瀬谷の逸品認定要綱

【実績の推移・今後見込み】

	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込
助成金交付団	延べ7	延べ8	延べ9	延べ9	延べ7	延べ4	延べ8

【実施内容】

- 瀬谷の逸品事業
  - 認定した瀬谷の逸品を区の内外に向けて広くPRしていきます。
  - <PR方法>全店掲載リーフレットを認定店舗・各施設や区内イベントで配布します。
- 商店街元気づくり事業
  - 商店街匠の技講座を実施します。
  - 商店街の自主企画事業に対して補助金を交付します。
  - 商店街ウォークイベントを実施します。
  - 商店街での買い物促進イベントを実施します。
- ものづくり支援事業
  - 中小製造業者を紹介するパネル展を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
瀬谷の逸品事業	680	1,580	△ 900	追加認定事業終了による減
商店街元気づくり事業	2,155	2,155	0	
ものづくり支援事業	670	970	△ 300	パネル更新枚数の減
事業費合計	3,505	4,705	△ 1,200	

【根拠とするデータ等】

区内商店街数、商店街実態調査(30年度、経済局)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩上 教行	曾宮 幸之助	柳沼 佑成

[ 瀬谷 区 総務 課 ]

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・ 課題区分	窓口サービス向上 区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成25年度
------	------------------	-------------	----------------------------	--------	--------

事業名  窓口サービス向上事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	3,014					3,014
前 年 度	1,297					1,297
増△減	1,717	0	0	0	0	1,717

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,506	1,262	1,328	予	事業費	3,014	3,014
算	メリット+一般財源	1,506	1,262	1,328	算	一般財源	3,014	3,014
決	事業費	1,121	1,147	929	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	1,121	1,147	929	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	瀬谷区職員として必要とされる基本的な知識を身につけ、市民の立場に心を配ったおもてなしができる職員を育成し、区役所全体の窓口サービスの向上を図ります。また、区民満足度の向上を目的とし、フロア案内のボランティアの配置を行います。併せて、来庁者が快適で安全・安心に庁舎をご利用いただけるよう、区庁舎の環境を整備します。
---------------	--

(説 明)

1 地域の課題等	区役所窓口では区民からの多岐にわたる要望に応えるため、常に迅速かつ正確丁寧な案内が求められます。業務に関する正確な知識を持ち、公平かつ迅速で心のこもった人権に配慮した対応のできる職員を育成し、区全体で応対力の向上を目指す仕組みづくりが必要です。 また、区民と協働し、親しまれる区役所づくりと区民サービスの向上を進め、併せて、区民の方が快適で安全・安心に庁舎をご利用いただけるよう、庁舎に関する区民のニーズに迅速に対応していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	目標達成に向けた組織運営 区民満足度の向上
3 根拠法令・要綱等	せやまるサポーター運営要綱、せやまるサポーター功労者感謝状贈呈要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 職員応対・接遇向上研修	(単位：人)				
	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込
新採用・転入職員研修(年1回)	35	35	33	39	35
応対力向上研修(年5回)	323	320	330	320	330

【実施内容】

- 職員応対・接遇向上研修等  
応対力向上を図るため、専門コンサルタントに委託して新採用・転入職員研修および応対力全体研修を実施します。また、職員や区民の人権に対する意識を醸成するため、人権啓発研修および講演会を実施します。
- せやまるサポーター  
登録ボランティアによる、来庁者への庁舎案内を行います。(区役所平日開庁日に実施)
- 庁舎環境整備事業  
区民の方が快適で安全・安心に庁舎をご利用いただけるよう、庁舎環境の整備・改善を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
職員応対・接遇向上研修等	470	310	160	人権研修の実施
せやまるサポーター	944	987	△ 43	1日あたりの活動者数減による減
庁舎環境整備事業	1,600	0	1,600	新規事業
事業費合計	3,014	1,297	1,717	

【根拠とするデータ等】

○市民局実施による窓口サービス満足度調査結果の「満足+やや満足」比率(経年変化)

年度	H27	H28	H29	H30	R01
瀬谷区	98.7%	98.7%	97.7%	98.0%	99.0%
全区平均	96.7%	97.2%	97.2%	97.6%	99.0%

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	鈴木 康幸	川瀬 倫子	岡田 唯

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	広報・広聴連携事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,252		60			1,192
前年度	2,632		120			2,512
増△減	△ 1,380	0	△ 60	0	0	△ 1,320

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	489	2,059	1,607	予算	事業費	1,341	1,635
	メリット+一般財源	429	1,939	1,547		一般財源	1,251	1,545
決算	事業費	505	1,459	2,477	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	457	1,363	2,429				

事業の概要(目的)	区政に関する情報をホームページやSNS等の媒体を活用して分かりやすく伝えとともに、町のご意見番制度(区長とあったかトーク等)を通じ、区民との対話を大切にしたい信頼される区役所を目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	【広報事業】 ・ホームページやSNSなどの各種広報媒体の特性を生かしながら、区民へ区政やイベント等の情報発信・提供の充実を図っていくことが求められている。 【広聴事業】 ・区民に身近な区役所を実現するため、区の施策等に対して区民からの声が寄せられるよう、引き続きさまざまな広聴事業の展開を図るとともに、今後の運営に生かしていく必要がある。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	-----------	--------

2 運営方針等との関係	目標達成に向けた組織運営 区民満足度の向上
-------------	-----------------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区「区長とあったかトーク」実施要領、瀬谷区「このはずく提案箱」事業の実施に関する取扱要綱、インターネット情報受発信ガイドライン、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」のデザイン使用に関する事務取扱要領、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」着ぐるみ使用要領
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

広報事業【ホームページアクセス件数】

年度	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
件数	104,046	108,910	114,397	200,691	317,859	317,859

○ 町のご意見番制度(区長とあったかトーク、市民からの提案)

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
区長とあったかトーク	4団体	4団体	2団体	2団体	1団体	1団体
市民からの提案(※)	211通	196通	234通	255通	531通	531通

※瀬谷区が受け付け、広聴データベースシステムで処理した「市民からの提案」等の通数

【実施内容】

- 1 広報事業  
区ホームページやメールマガジン、SNSを活用した情報発信・提供を実施。
- 2 マスコットキャラクター活用事業  
瀬谷区マスコットキャラクターせやまるのデザイン使用管理及び着ぐるみの運用。
- 3 せや百科  
瀬谷区の生活情報誌「せや百科」の発行(6,000部)。\*転入者を中心に配布
- 4 町のご意見番制度  
市の広聴事業である「市民の声事業」を運用するほか、瀬谷区独自広聴である「このはずく提案箱」や区長が地域活動団体の活動場所を直接訪問し、活動内容等について意見交換を行う「区長とあったかトーク」を実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報事業	297	297	0	
マスコットキャラクター活用事業	360	460	△ 100	商標の新規登録区分数の減
せや百科	580	830	△ 250	配布用袋隔年作成による減
区民生活・防災マップ	0	1,030	△ 1,030	隔年発行による減
町のご意見番制度	15	15	0	
			0	
事業費合計	1,252	2,632	△ 1,380	

【根拠とするデータ等】

瀬谷区ホームページアクセス件数、せやまる着ぐるみ貸出実績、広聴情報データベースシステム受付件数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	八子 俊昇	會田 文恵	田中 倫子

( 瀬谷 区 - 21 )